

平成28年農林水産物・食品の輸出実績

(品目別)

平成 2 9 年 4 月

農林水産省

食料産業局輸出促進課

品目別内訳	2		
加工食品の内訳	3	野菜・果実等の内訳	20
アルコール飲料	4	りんご	21
日本酒(清酒)	5	ながいも	22
醤油	6	ぶどう	23
みそ	7	桃	24
清涼飲料水	8	いちご	25
菓子(米菓を除く)	9	かんしょ	26
米菓	10	なし	27
		うんしゅうみかん	28
畜産物の内訳	11	柿	29
牛肉	12		
粉乳(育児用調製品ほか)	13	その他農産物の内訳	30
鶏肉	14	緑茶	31
牛乳	15	植木等	32
鶏卵	16	切花	33
豚肉	17		
		林産物の内訳	34
穀物等の内訳	18	丸太	35
米(援助用除く)	19	合板	36
		製材	37
		水産物(水産調製品以外)の内訳	38
		ホタテ貝(生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵・乾燥)	39
		真珠(天然・養殖)	40
		さば	41
		ぶり	42
		かつお・まぐろ類	43
		さけ・ます	44
		さんご	45
		いか	46
		錦鯉等観賞用魚	47
		たい	48
		すけとうたら	49
		水産調製品の内訳	50
		ホタテ貝(調製品)	51
		練り製品(魚肉ソーセージ等)	52
		乾燥なまこ(調製)	53
		貝柱(調製品)	54
		あわび(調製)	55

【利用上の注意】

- 本資料は、農林水産物・食品の輸出に取り組む者や、これから取り組もうと考えている者の参考としていただくため、財務省が公表している「貿易統計」から、我が国の農林水産物・食品の輸出実績のうち、主な品目について取りまとめたものです。
- 本資料の作成に当たっては、誤りのないよう、細心の注意を払っておりますが、万が一、誤りがあった場合でも、農林水産省は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

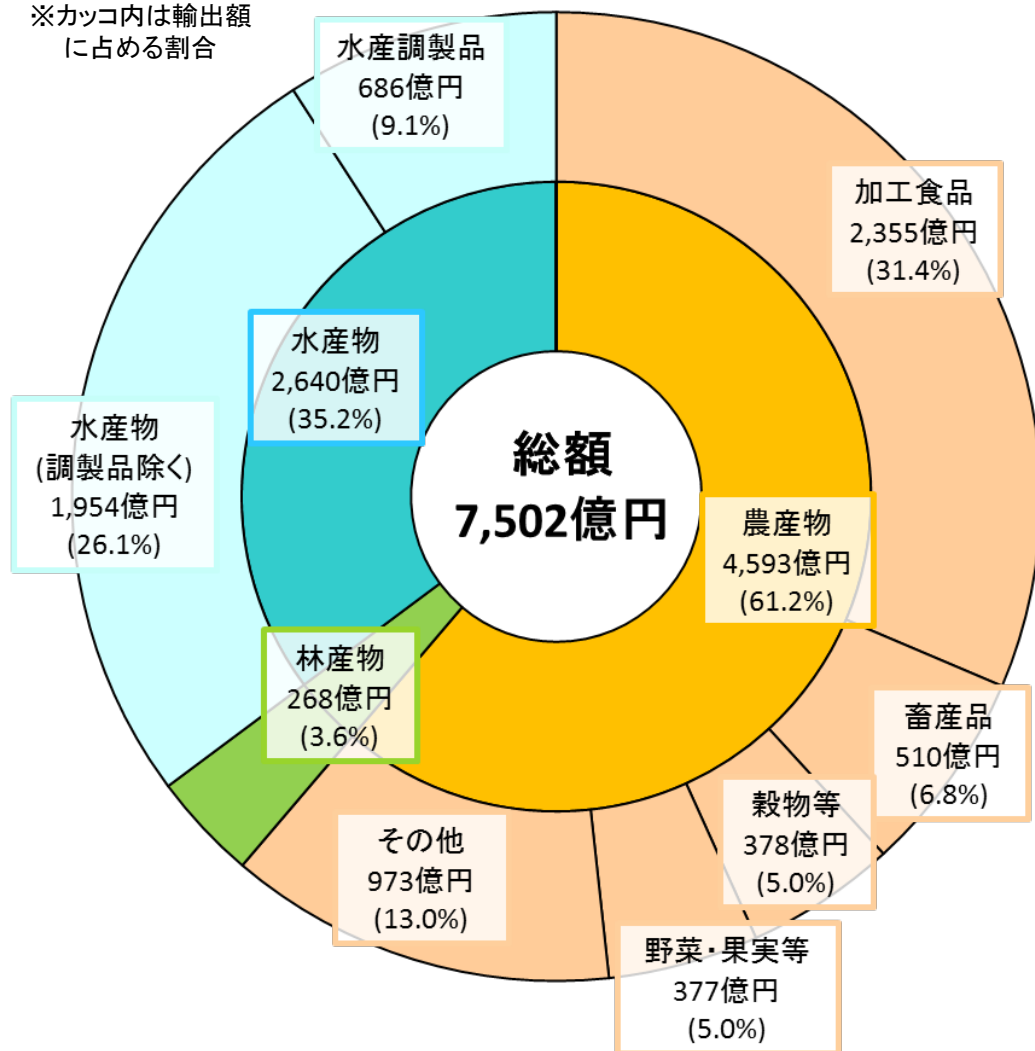
平成28年農林水産物・食品の輸出額の品目別内訳

MAFF

●農林水産物・食品の輸出額を品目別で見ると、水産物が約4割、加工食品が約3割を占める。

(平成28年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位: 億円)

品目	平成27年 2015年	平成28年 2016年	増減率
農林水産物	7,451	7,502	0.7%
農産物	4,431	4,593	3.7%
加工食品 (アルコール飲料、調味料、清涼飲料水、菓子等)	2,221	2,355	6.1%
畜産品 (食肉、酪農品、鶏卵、牛・豚等の皮等)	470	510	8.7%
穀物等 (小麦粉、米等)	368	378	2.6%
野菜・果実等 (青果物、果汁、野菜・果実の缶詰等)	350	377	7.6%
その他農産物 (たばこ、播種用の種、花き、茶等)	1,022	973	▲4.8%
林産物 (丸太、製材、合板等)	263	268	1.9%
水産物	2,757	2,640	▲4.2%
水産物(調製品除く) (生鮮魚介類、真珠(天然・養殖)等)	2,063	1,954	▲5.3%
水産調製品 (水産缶詰、練り製品(魚肉ソーセージ等))	693	686	▲1.1%

資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

加工食品の内訳

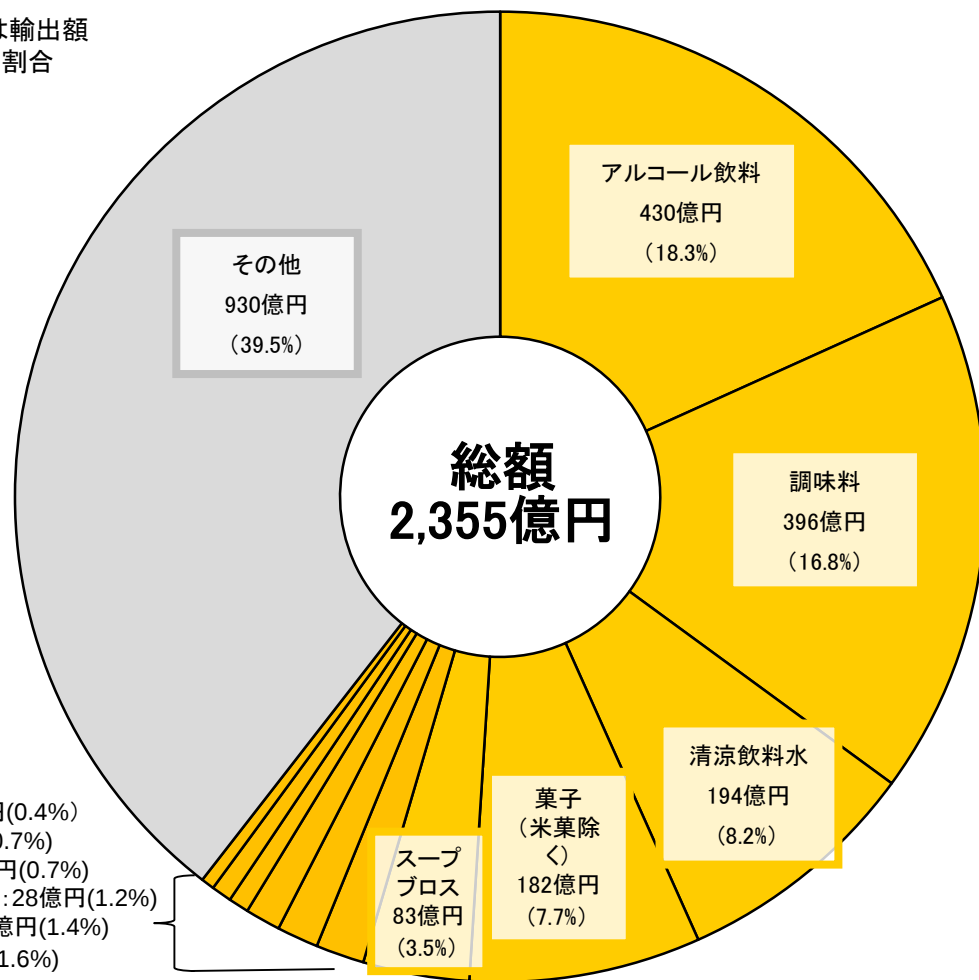
MAFF

●加工食品の品目別内訳をみると、アルコール飲料、調味料、清涼飲料水、菓子などの割合が多い。

(平成28年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合

(単位:億円)



品目名	平成27年	平成28年	増減率
アルコール飲料	390.3	430.0	10.2%
清酒	140.1	155.8	11.2%
ウイスキー	103.8	108.4	4.5%
ビール	85.5	94.9	11.0%
焼酎	15.7	14.7	▲6.7%
ぶどう酒	1.9	1.6	▲14.5%
調味料	377.3	395.7	4.9%
ソース混合調味料	264.2	273.7	3.6%
醤油	61.9	66.1	6.8%
みそ	27.6	30.6	11.1%
清涼飲料水	197.4	194.3	▲1.6%
菓子 (米菓除く)	177.0	181.6	2.6%
チョコレート菓子	89.0	91.9	3.4%
キャンデー類	60.7	64.6	6.3%
ビスケット	17.0	16.0	▲6.0%
チューインガム	10.3	9.1	▲11.6%
スープ ブロス	70.3	83.3	18.5%
米菓	38.7	38.1	▲1.6%
ペプトン等	29.1	32.6	11.8%
デキストリン等	28.7	27.7	▲3.7%
レシチン等	16.8	16.0	▲4.7%
酵母	16.1	15.9	▲1.6%
香辛料	10.7	10.4	▲2.6%
その他	868.4	929.9	7.1%
加工食品 計	2,220.8	2,355.4	6.1%

「ソース混合調味料」…ソース、たれ、マヨネーズ、ドレッシング、カレールー等。

「スープ ブロス」…スープや出汁の素。

「ペプトン」…牛乳や大豆のたんぱく質を分解したもので、食品添加物、培地等に使用。

「デキストリン」…でん粉を分解したもので、食感の改良や増粘安定剤等に使用。

「レシチン」…卵黄や大豆由来の脂質で、食品添加物、健康食品の原料等に使用。

「酵母」…ビール酵母等で、健康食品や飼料の原料に使用。

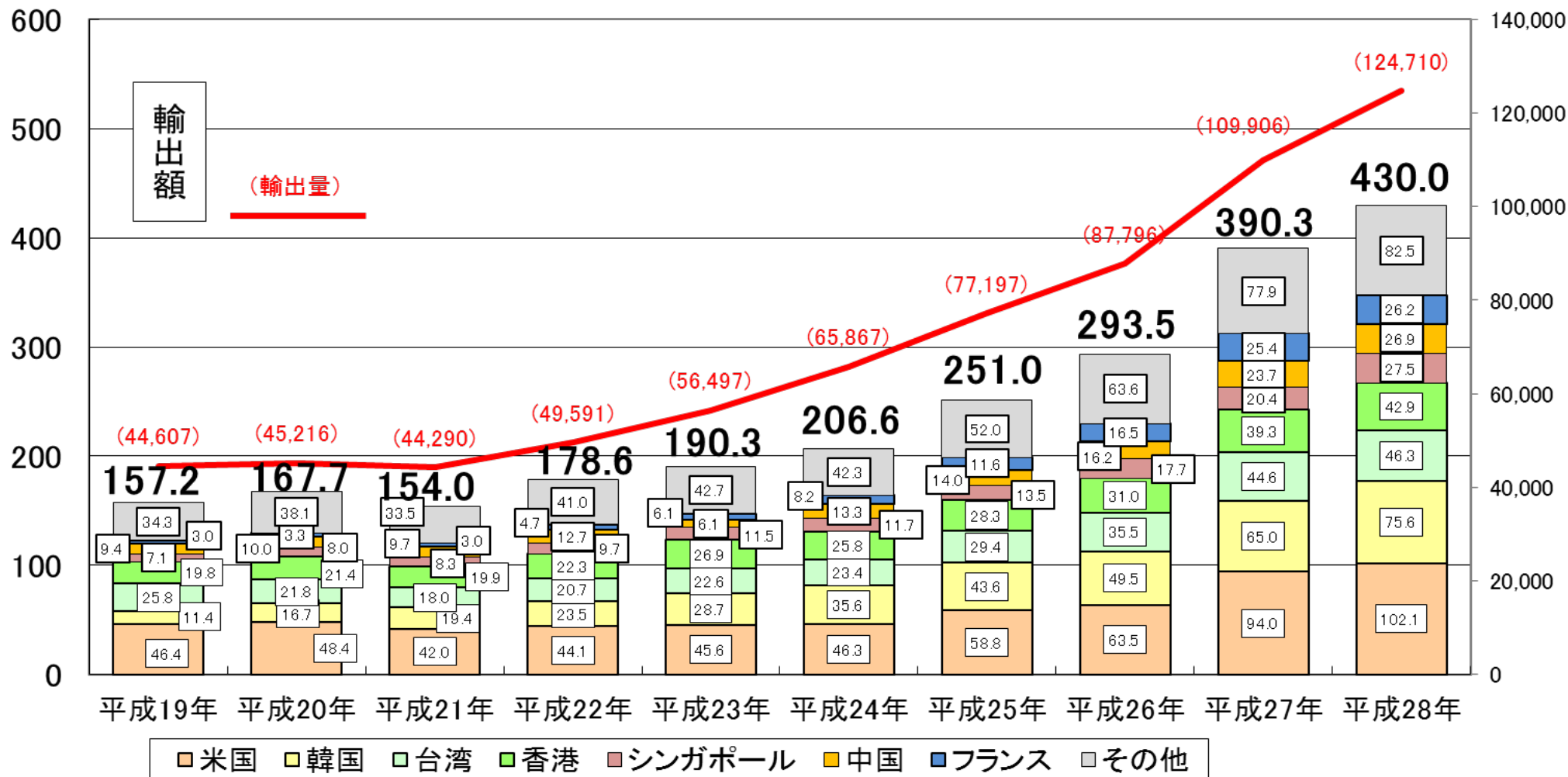
アルコール飲料の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- アルコール飲料の輸出額は、増加傾向。
- 内訳をみると、日本酒(清酒)(156億円)が最も多く、次いでウイスキー(108億円)、ビール(95億円)。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キロリットル)



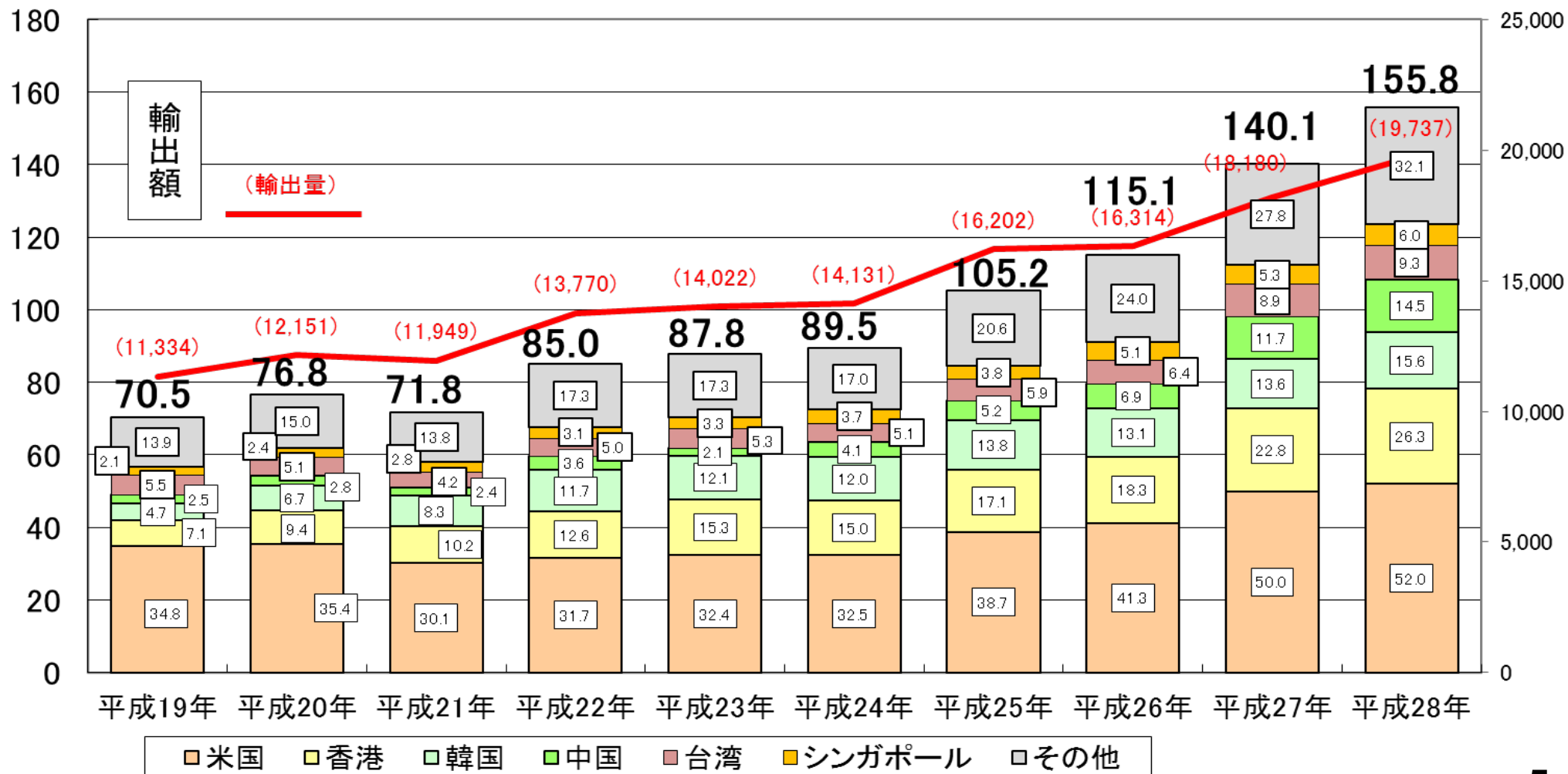
日本酒(清酒)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 日本酒(清酒)の輸出額は、日本食ブームを背景に増加傾向。
- 米国、香港、韓国、中国、台湾、シンガポール向けが全体の約8割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キロリットル)



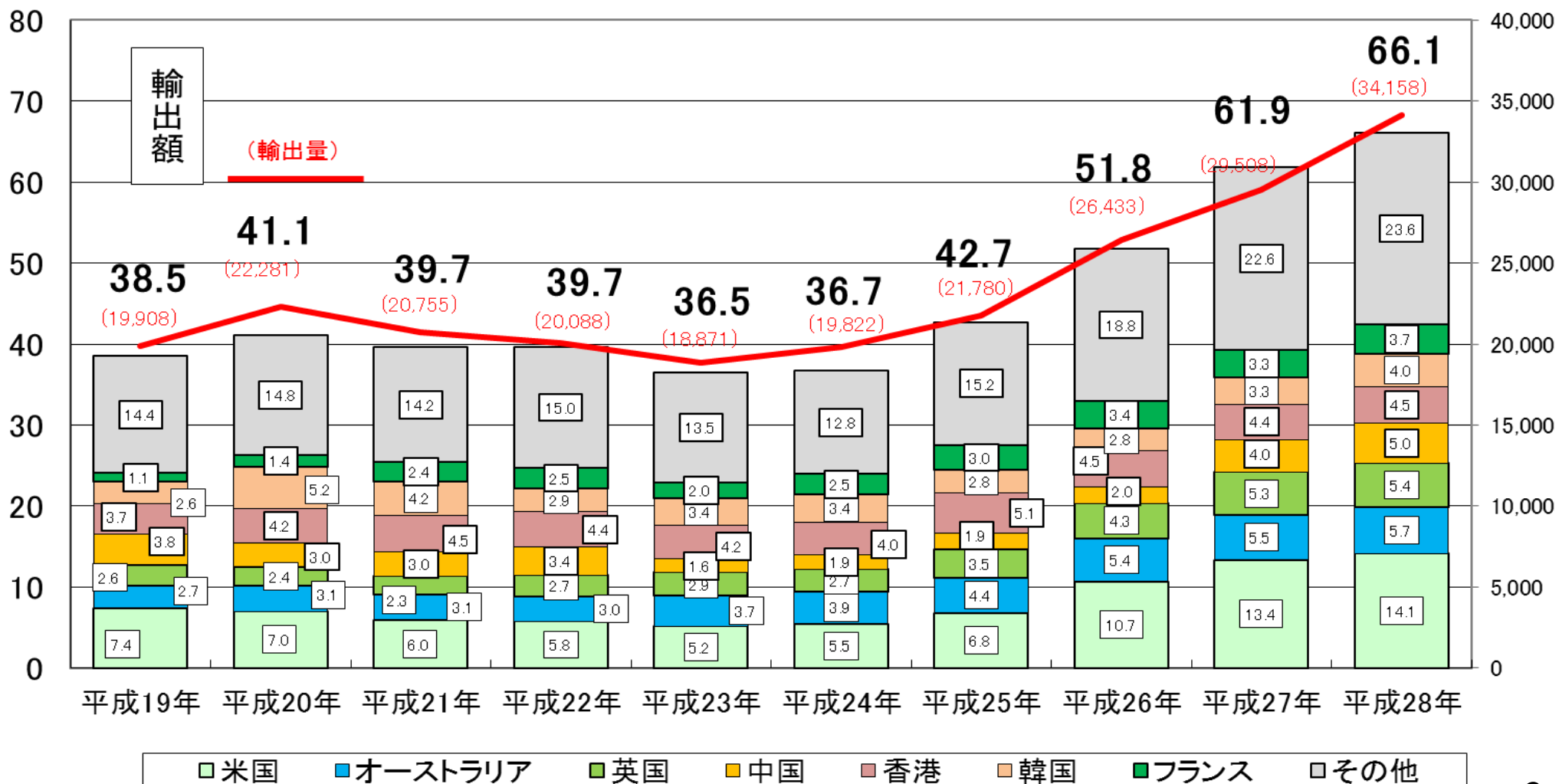
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

醤油の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 日本の調味料の代名詞として、多くの国・地域に向けて醤油が輸出されている。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

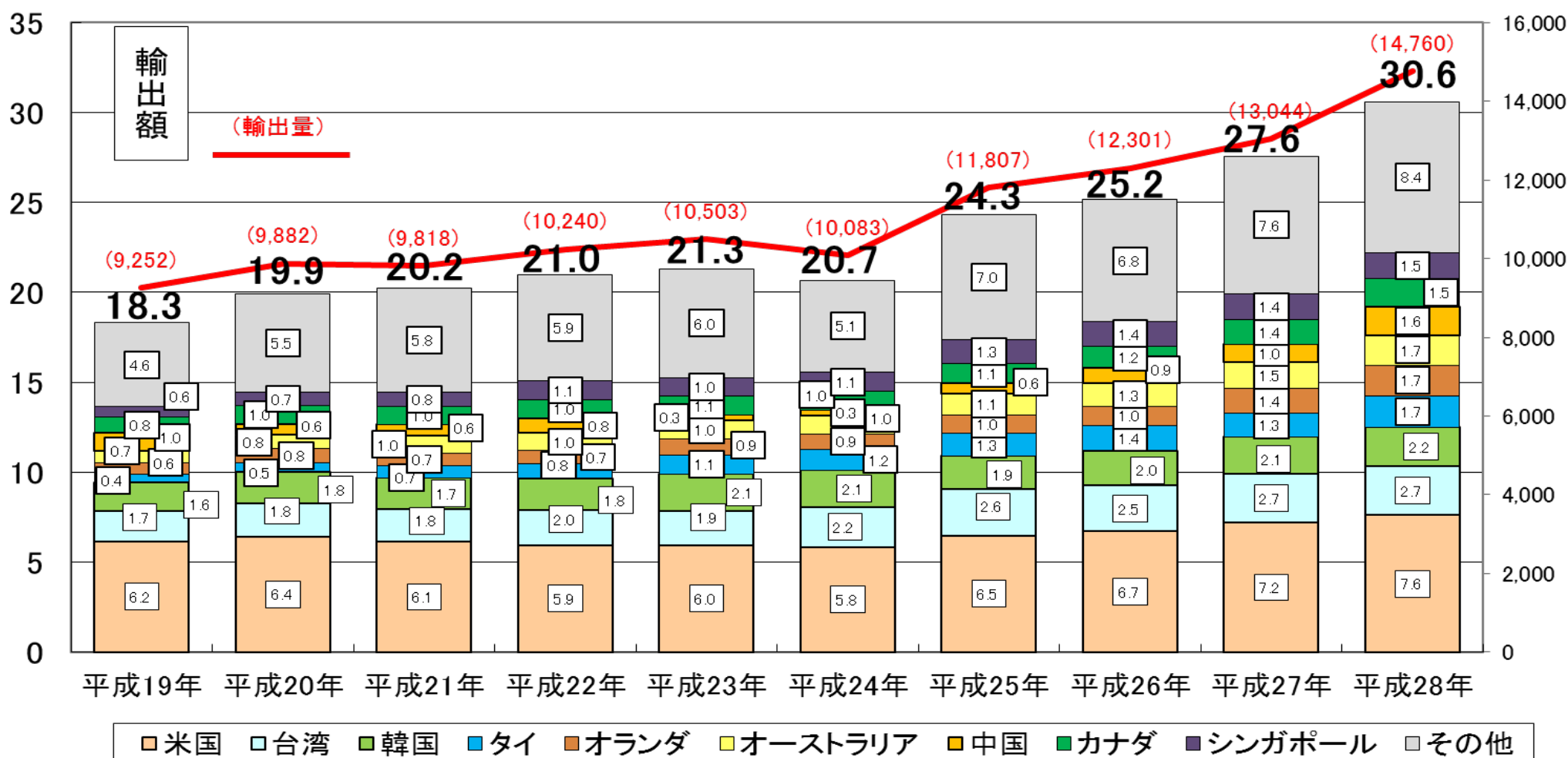
みその輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 日本食レストランの普及等に伴い、多くの国・地域に向けてみそが輸出されている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

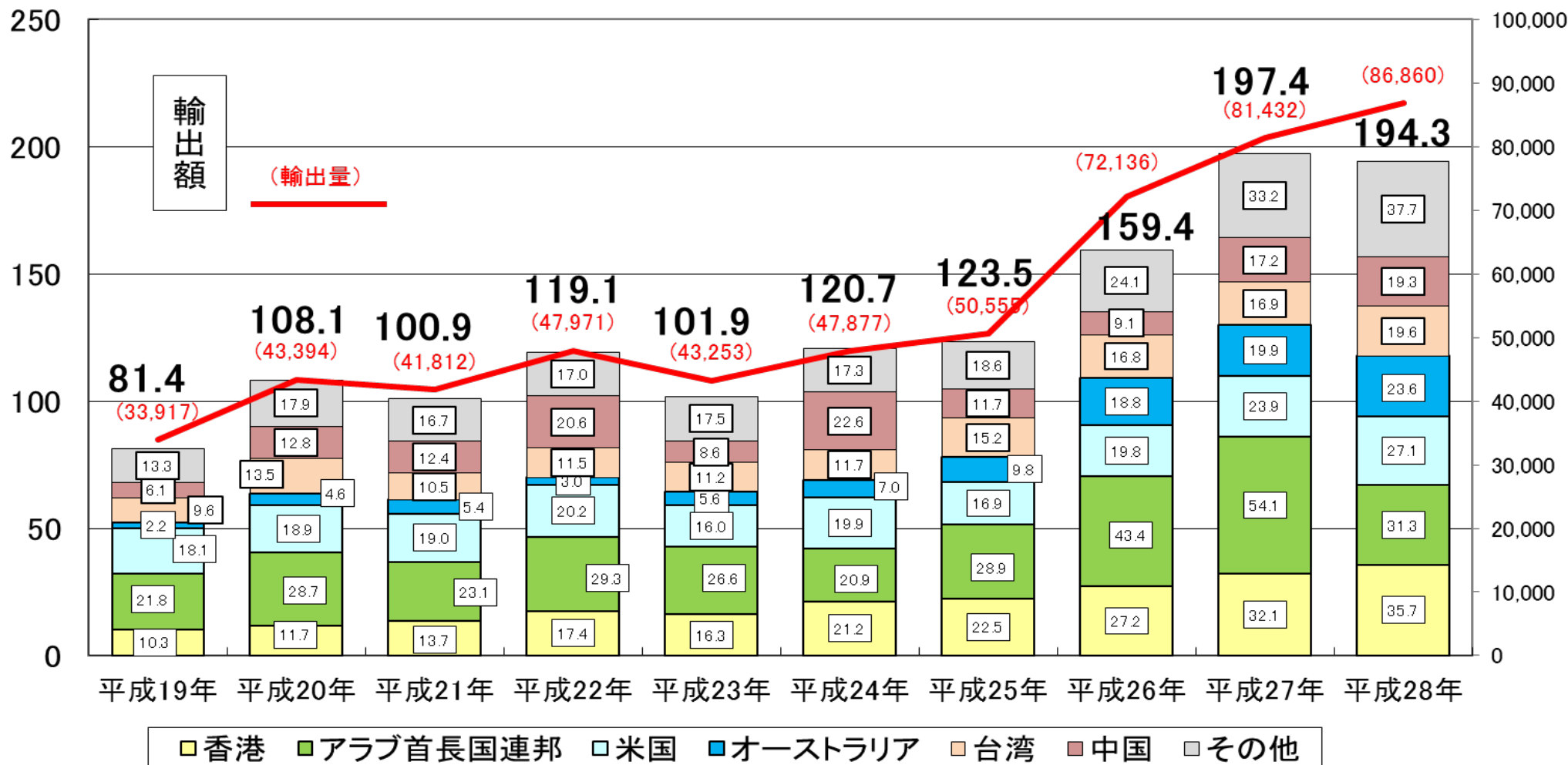
清涼飲料水の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 清涼飲料水の輸出額は、平成27年まで増加傾向であったが、平成28年は最大の輸出先であったアラブ首長国連邦向けが減少した影響により減少。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キロリットル)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

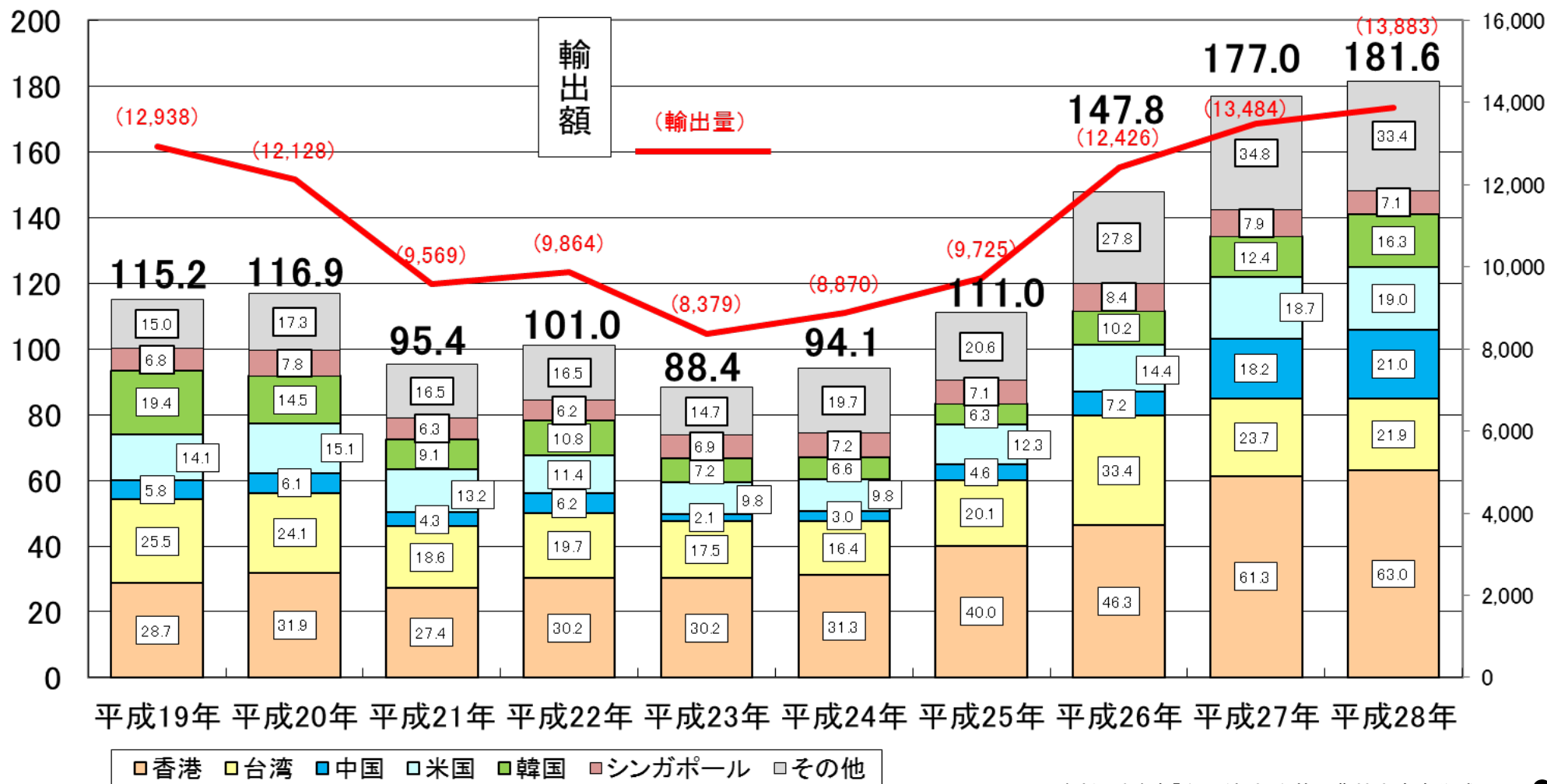
菓子(米菓除く)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 日本産菓子は、高品質なものと認識されており、香港、中国を中心に近年、輸出が伸びている。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

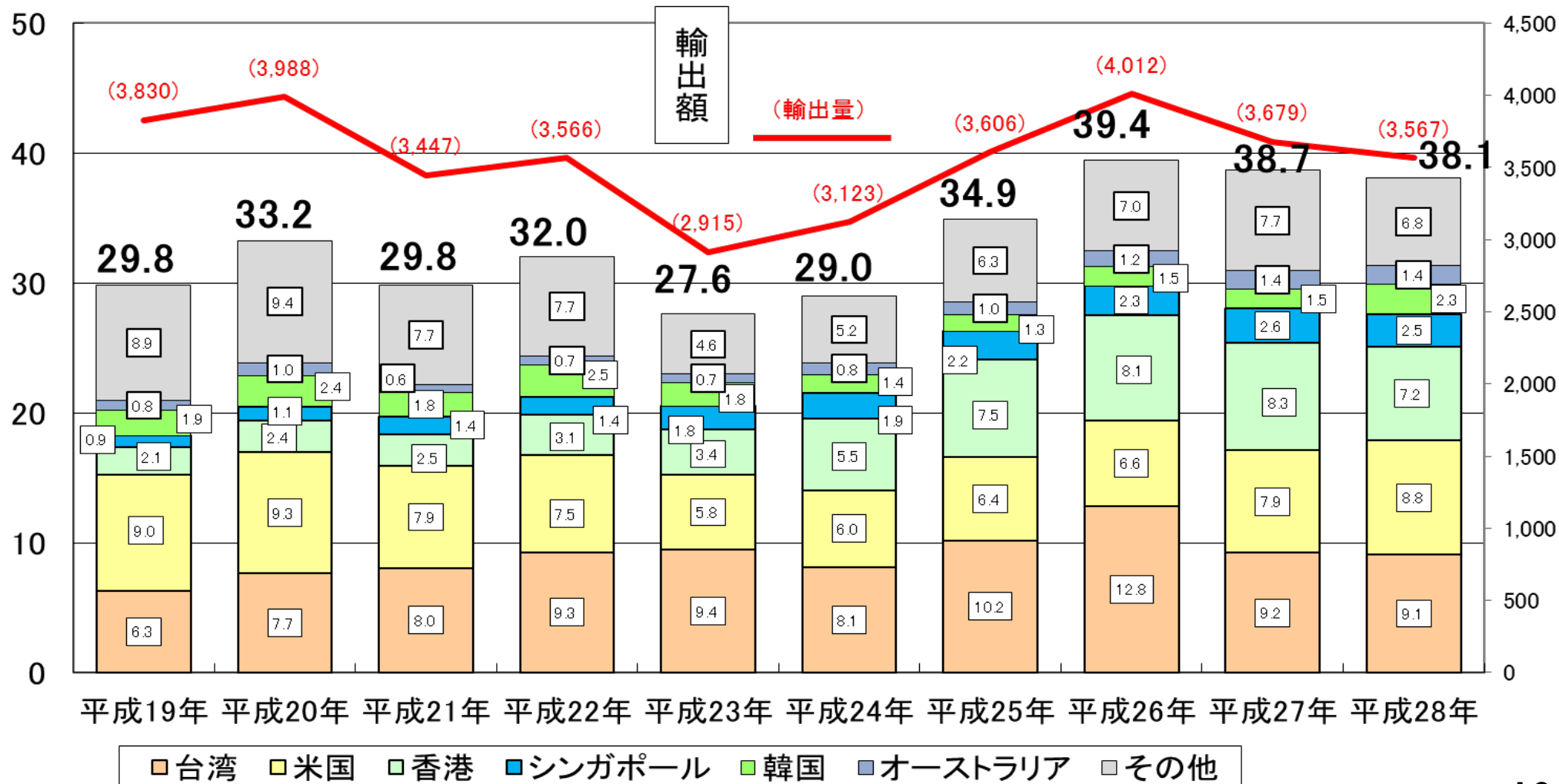
米菓の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 米菓の輸出額は、台湾、米国、香港、シンガポール、韓国、オーストラリア向けで全体の約8割を占める。
- 平成27年は、台湾における輸入規制強化の影響を受け、対前年比で減少。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

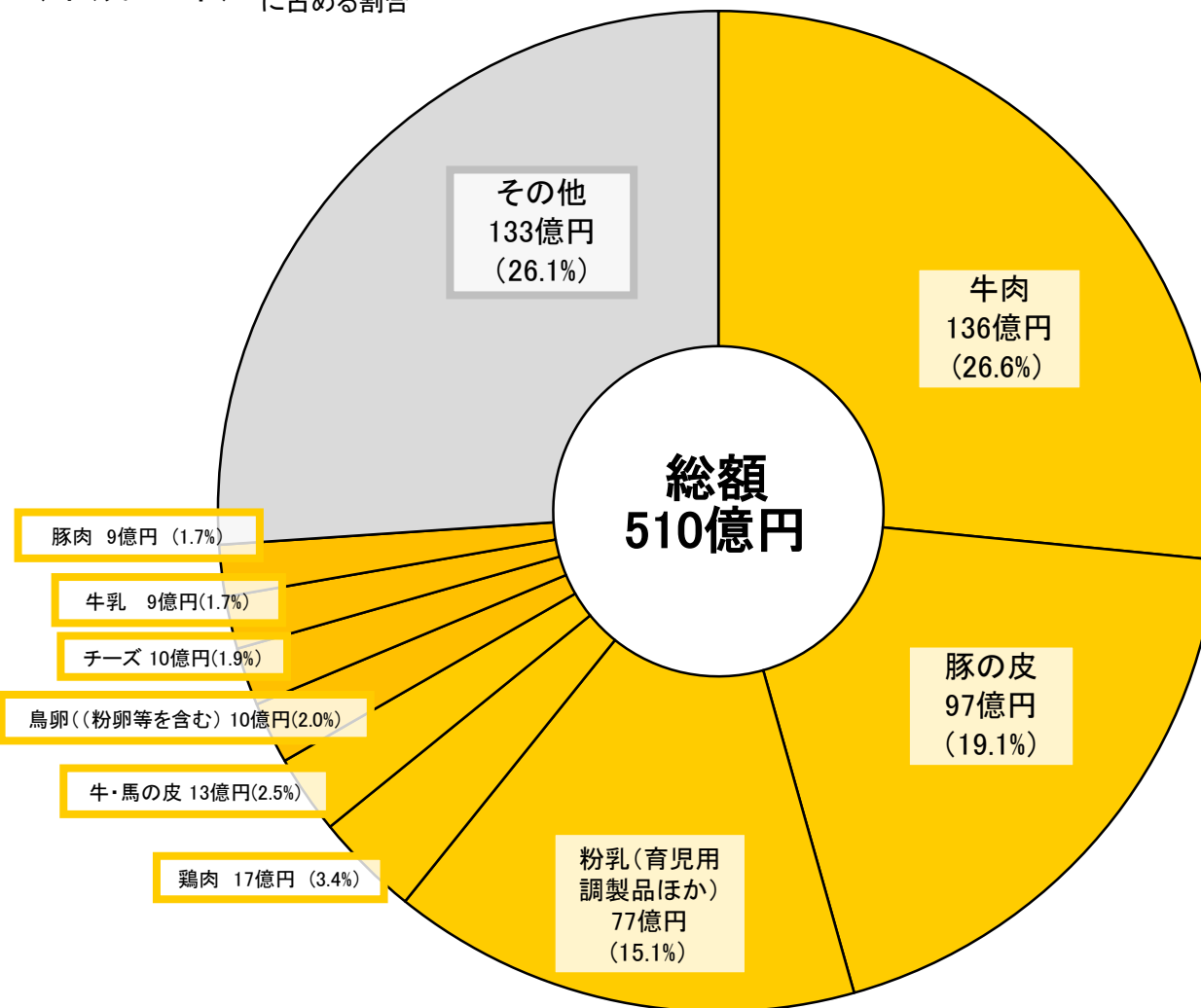
畜産品の内訳

MAFF

●畜産品の品目別内訳をみると、牛肉、粉乳の輸出が大幅に増加。

(平成28年) ※カッコ内は輸出額
に占める割合

(単位:億円)



品目名	平成27年	平成28年	増減率
牛肉	110.0	135.5	23.1%
豚の皮	90.0	97.4	8.2%
粉乳(育児用調製品ほか)	55.5	77.3	39.2%
鶏肉	16.6	17.2	3.6%
牛・馬の皮	25.3	13.0	▲48.6%
鳥卵(粉卵等を含む)	8.9	10.2	14.8%
チーズ	8.3	9.6	15.7%
牛乳	7.2	8.6	19.4%
豚肉	8.1	8.5	4.6%
その他	139.7	133.1	▲4.8%
畜産品計	469.8	510.4	8.7%

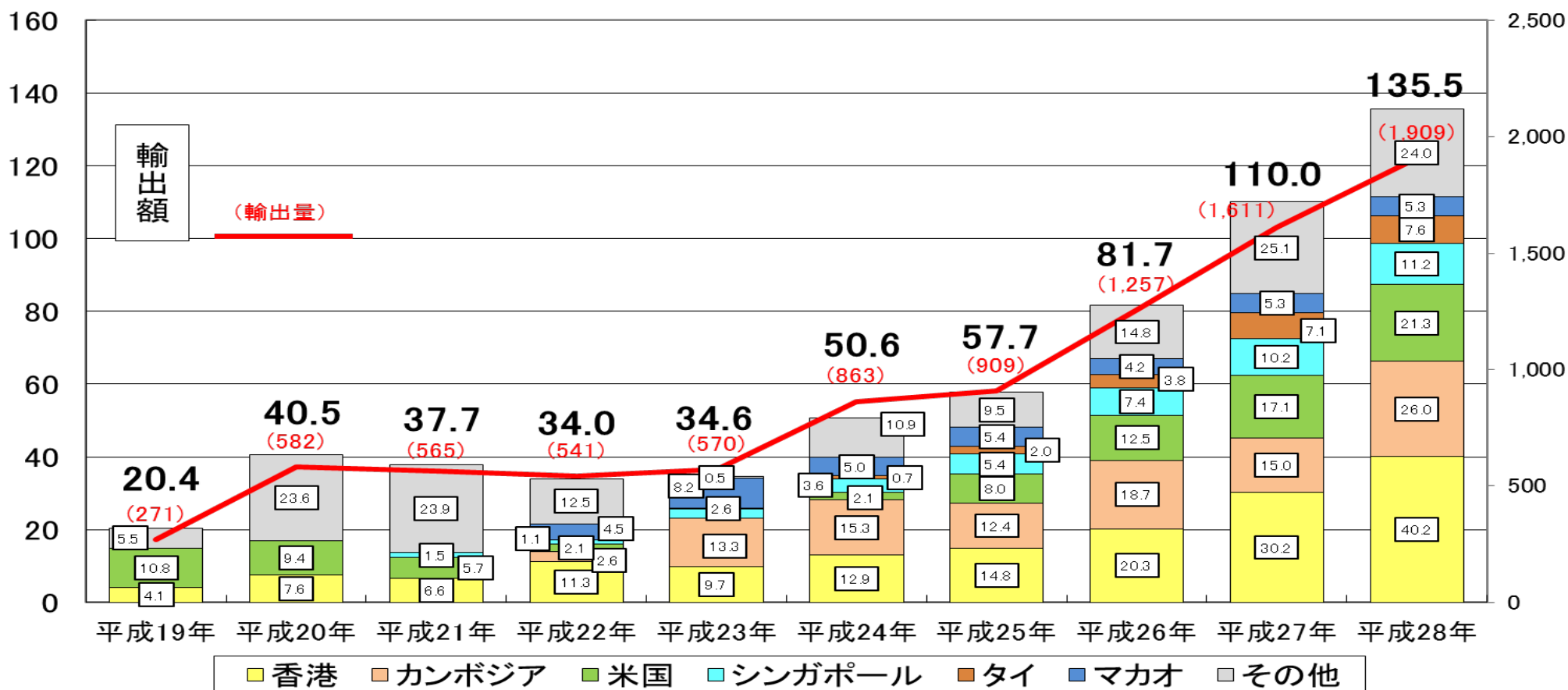
牛肉の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 主要な輸出先国は、香港、カンボジア、米国、シンガポール。
- 平成20年から23年の輸出は、口蹄疫発生、原発事故等の影響によって輸出が一時停止したことに加え、円高の影響もあり、横ばいで推移。
- 平成24年の対米輸出再開、平成26年の対EU輸出解禁等により輸出可能国が増加するとともに、輸出団体等のプロモーション効果等もあり、近年、輸出は順調に伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

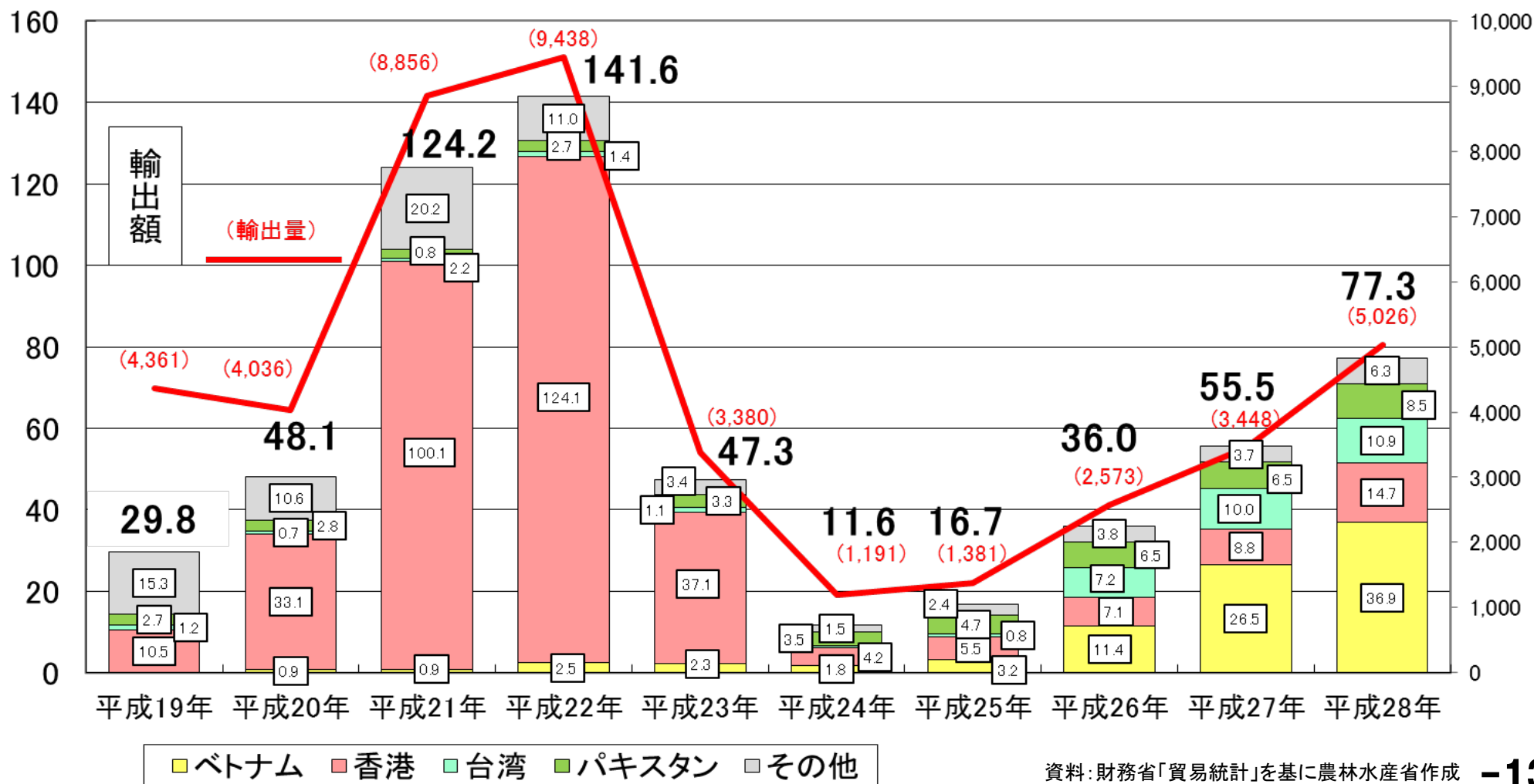
粉乳(育児用調製品ほか)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 中国におけるメラミン混入事案(平成20年)を背景として、香港における日本産粉乳(育児用調製品ほか)に対する需要増により輸出額が増加。その後、東京電力福島第一原発の事故等の影響により輸出額は大きく減少したが、平成25年から回復傾向。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



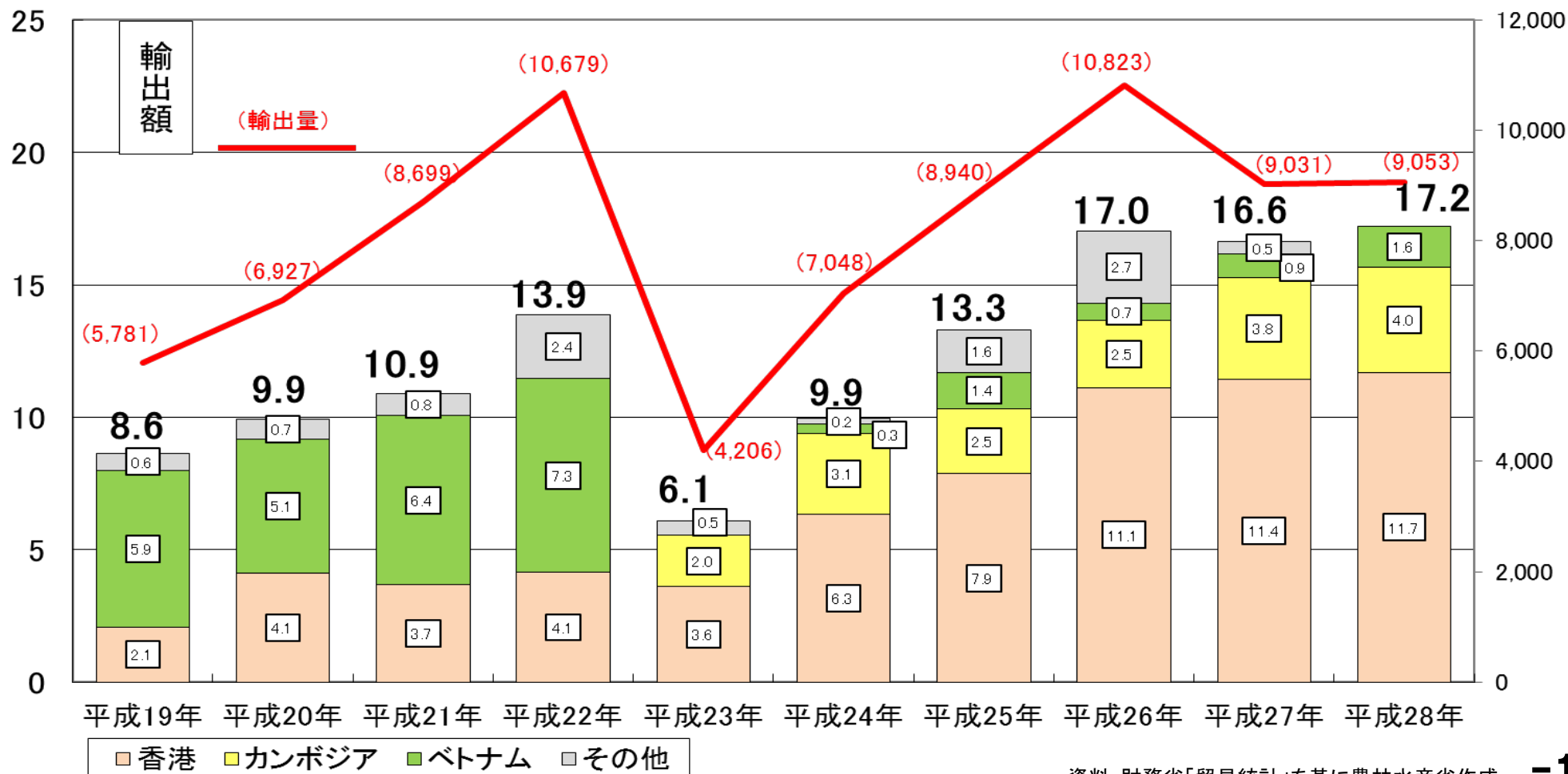
鶏肉の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 鶏肉の輸出は香港向けのシェアが多いところ。
- 東日本大震災の影響を受けて一時減少したが、その後、震災前の水準を超えて伸びている。
- 平成26年末及び平成28年11月に発生した鳥インフルエンザの影響により、一部の輸出先国への輸出が停止したこと等から、近年、伸び悩みの傾向。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

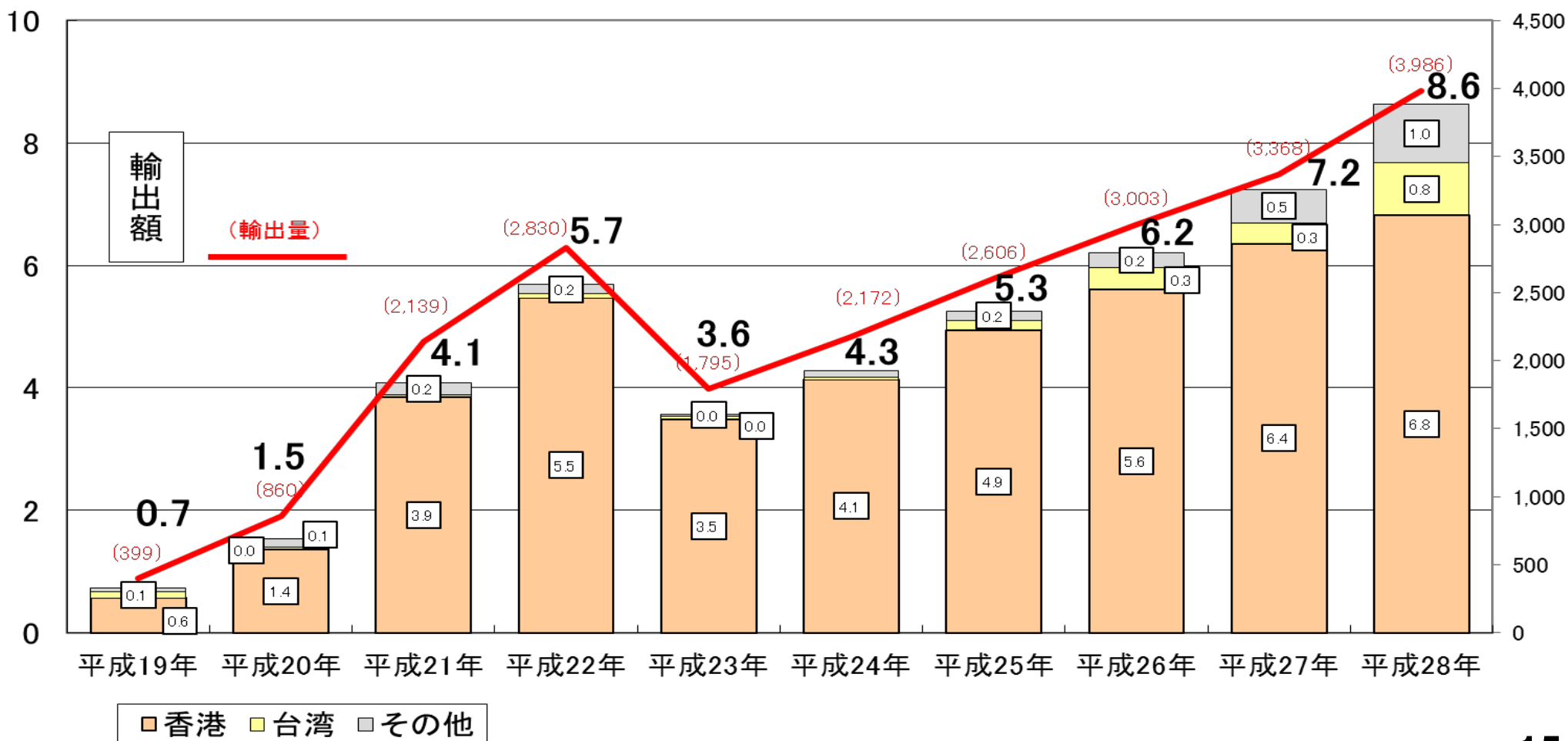
牛乳の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 中国におけるメラミン混入事案(平成20年)を背景として、香港における日本産牛乳に対する需要増により、輸出額が増加。その後、平成23年の東京電力福島第一原発の事故等の影響により、輸出額は大きく減少したものの、平成24年以降、再び増加し、平成27年からは震災前の水準を超えて伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

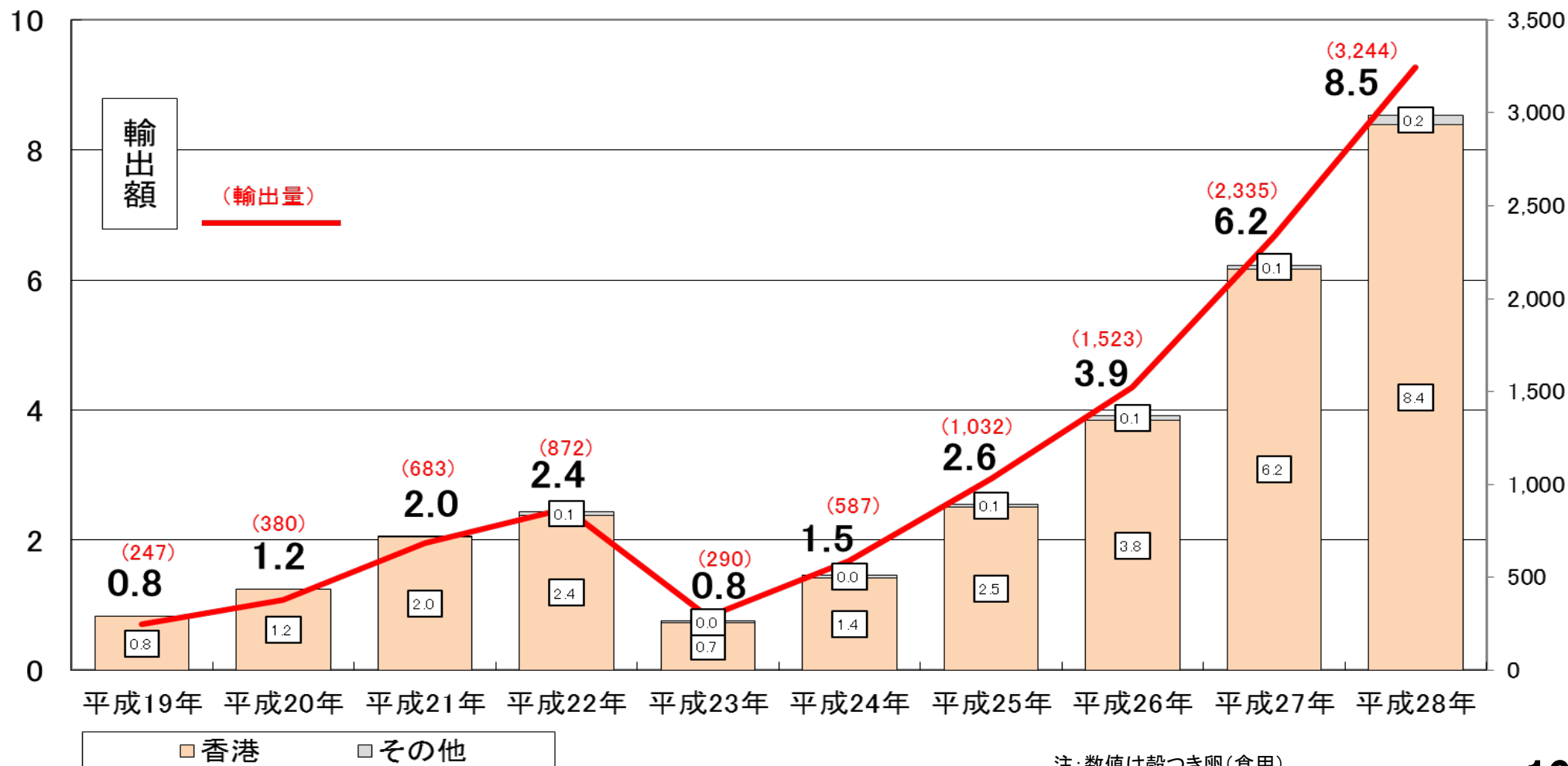
鶏卵の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 鶏卵の輸出は香港向けが大半を占めているところ。
- 東日本大震災の影響を受けて一時減少したが、その後、震災前の水準を大きく超えて伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



注: 数値は殻つき卵(食用)
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

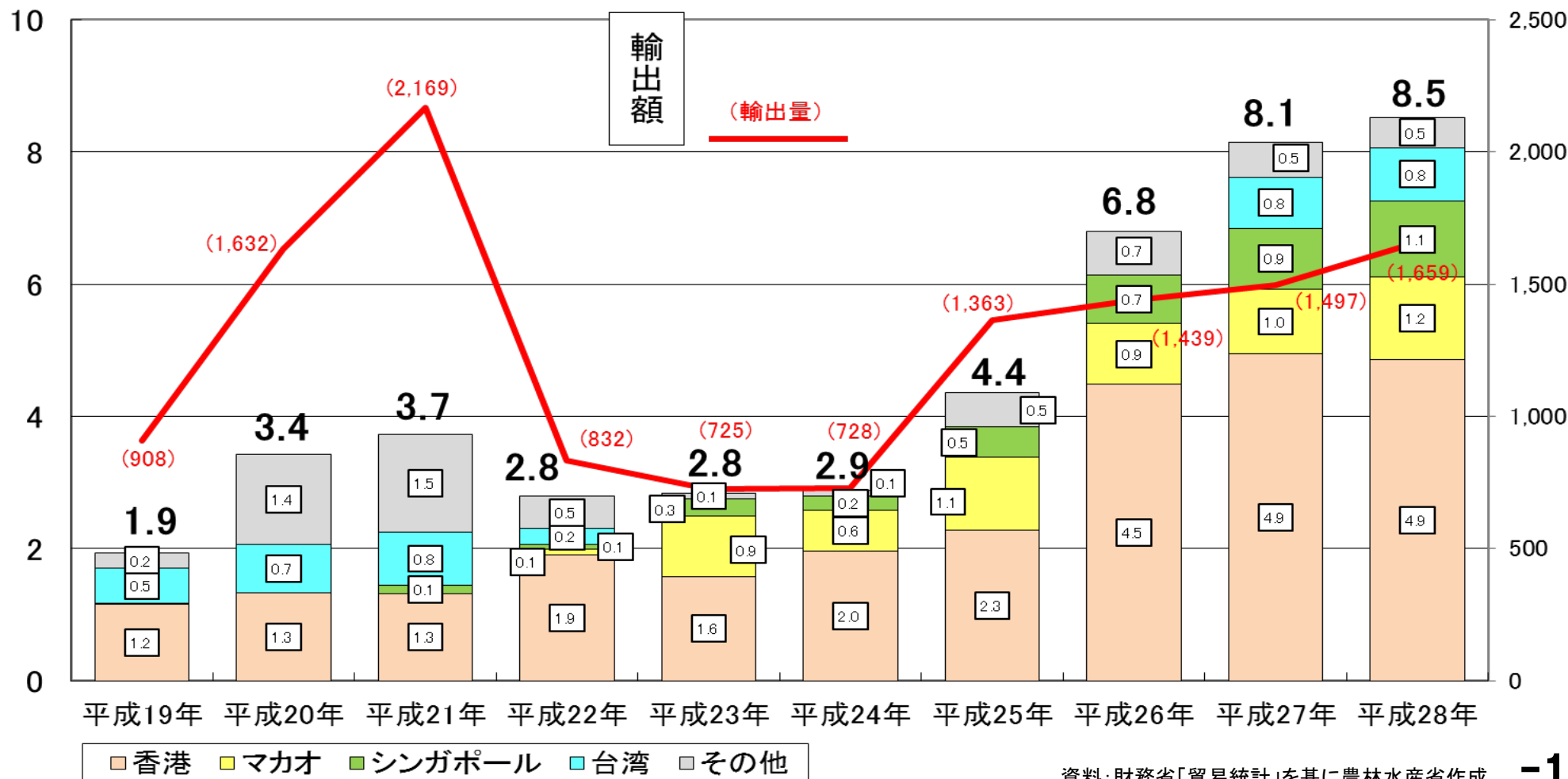
豚肉の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 豚肉の輸出は、香港をはじめ、マカオ、シンガポール、台湾向けが大半を占めているところ。
- 平成22年から24年にかけて、口蹄疫発生、原発事故等の影響により輸出が停滞したが、平成25年には回復。
- 平成26年以降、日本食レストランに対し和牛と合わせて売り込む等により、香港、シンガポール向けの輸出が増加しているところ。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成